

児童発達支援・放課後等デイサービス みんなのえがお・ニコニコ

30年度自己評価表

2019年2月 実施

事業所名		みんなのえがお・ニコニコ				責任者・記入者	河口 美香
	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	改善目標・工夫している点など		
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			一人当たり4㎡の基準を遵守しています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準の指導員2名に対し、1人以上多く配置しております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	室内、洗面所、トイレなど段差はありません。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的な会議により、振り返ることで次回支援に役立っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に一度実施しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			28年度は、保護者様へ配布していましたが、29年度より配布とHPにて公開します。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部評価は実施していません。評価に高額な費用を要するため、検討課題となります。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修を含め年間5～8回ほど実施しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様との面談の前後でアセスメント会議を行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			年間、週間、一日の活動プログラムの計画を立てています。	
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			常に新しい取り組みができるよう、個々のスタッフがミーティング時にアイデアを出し合っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			平日と休日、長期休暇、利用時間に応じたプログラムを行なっています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団での活動の課題、個別の課題や目標を立て、計画に基づいて支援しています。	

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝のミーティングにて必要事項の確認を行なっています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか			○	業務終了後でのミーティングが難しいため、朝の打ち合わせにて振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日報だけではなく、プログラムや行事、イベントごとの振り返りレポートを記録しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に行なっています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
	関係機関や保護者との連携関係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	今のところサービス担当者会議が行なわれていないが、その必要性があれば精通したものが参加を考えている
		21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか			○	学校によっては、予定表をいただくなど、情報を得るようにしている。また送迎時にも情報交換をし、共通した支援ができるよう取り組んでいる。
		22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在は、医療的ケア児を受け入れていない。必要があれば、連携をとっていきたい。
		23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	就学前から利用している場合は、情報交換（送迎時に）できるが、就学してからの利用者に対しては今のところ情報を得てはいない。相談専門支援員との情報交換は行っている。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今のところ対象者がいない	
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
26		放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	イベント時などは、障害のない子どもとかわる機会があります。	
27		（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○				
28		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	日頃より相談等は電話やメール、面談時に行なっていますが、専門的知識を持ったペアレント・トレーニングは行なっておりません。		

保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行なっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日頃より相談等は電話やメール、面談時に行なっています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会の開催日数が少ないが、参加日には意見を交換できるように整えている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			責任者が苦情解決窓口となり対応している。苦情があった場合は書面化し、スタッフで情報を共有し、改善をしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月お知らせという形で発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルの策定し研修等行なっていますが、保護者様には詳細の公表はしていません。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			必ず月に一度、様々な災害を想定した訓練を行なっています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			今後予定しています。(平成30年5月)
	41	どのような場合にやむを得ず身柄拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			該当者なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			該当者なし
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				ファイルに閉じて、常時確認できるようにしています。